

「尿膜管疾患に対する腹腔鏡下尿膜管摘出術に関する全国調査」 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2018年9月25日 ～ 2019年3月31日

〔研究課題〕

尿膜管疾患に対する腹腔鏡下尿膜管摘出術に関する全国調査

〔研究目的〕

尿膜管疾患に対する腹腔鏡手術の日本の現状を明らかにし、今後、術式の標準化に向けた、基盤的なデータを構築することです

〔研究意義〕

尿膜管疾患について、施設による差がなく、標準的な手術が受けられるようになります

〔対象・研究方法〕

●対象となる患者さん

2010年4月1日から2018年8月31日の間に帝京大学ちば総合医療センターの泌尿器科において、尿膜管疾患に対する腹腔鏡手術を施行した患者さん（全国調査は2000年1月1日から2019年3月31日）。全国で200名、当院では10名の情報収集を目標にしています。

●利用するカルテ情報

- ① 臨床所見（年齢、性別、体重、尿膜管疾患の症状、病変部位など）
- ② 周術期データ（手術の種類：伝統的腹腔鏡手術・リデュースド・ポート手術（鉗子の数を減じた手術）・単孔手術など、手術時間、気腹時間、出血量、ポート位置、カメラ位置など）
- ③ 手技（臍、膀胱、腹膜 等の処理法）
- ④ 手術に関連する合併症など（ポートの追加の有無、開腹術への移行の有無、など）
- ⑤ 術後合併症

〔研究機関名〕

関西医科大学附属病院（主たる研究機関）
秋田大学
杏林大学
東京歯科大学 市川総合病院
東海大学
静岡県立総合病院
滋賀医科大学

徳島大学
広島大学
大分大学
筑波大学
帝京大学ちば総合医療センター
山形大学
大津市民病院
札幌北榆病院
その他、倫理委員会承認後、日本泌尿器内視鏡外科学会の承認を得て、日本国内の日本泌尿器内視鏡外科学会評議員が在職する施設に参加依頼をする。

〔個人情報の取り扱い〕

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、患者さん個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

患者さんからご自身の情報開示等の請求は個々に対応いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：納谷幸男

住所： 〒299-0111 千葉県 市原市 姉崎 3426-3

TEL： 0436-62-1211 （代表）